

平成22年度「自ら評価」案件候補のファクトシート作成等のスケジュール

- 第35回企画専門調査会の議論においてA（「自ら評価」の対象とすることの
フィージビリティ（科学的知見・データの有無など）をさらに詳細に検討して整理
すべきもの）と整理された危害要因に係るファクトシート作成等の実施スケ
ジュール
- 1 平成23年度調査事業の実施（平成23年6月2日、第384回食品安全委員会で承認）
 - 2 A－イ：ファクトシート作成とされたものを中心に、年内作成を目標とす
 - 3 A－ハ、ニ：情報提供とされたものについては、年度内作成を目標とする。

A-イ：ファクトシート作成とされたもの（平成23年2月8日、第37回企画専門調査会）

ハザード名等	調査方法	備考
フッ素樹脂	H23年度調査対象	自主調査を基礎として活用
パーフルオロ化合物	H23年度調査対象	
本来的に食品に含まれる硝酸塩	H23年度調査対象	
食品に含まれる多環芳香族炭化水素(PAHs)	H23年度調査対象	
放射線照射食品	H23年度調査対象	H16年度調査を基礎に再調査
有機スズ化合物	自主調査	H22年度調査事業の成果を活用

A一八、二：情報提供とされたもの（平成22年12月16日、第36回企画専門調査会）

ハザード名等	調査方法	備考
ラップフィルム	H23年度調査対象	自主調査を基礎として活用
クロム	H23年度調査対象	
シリコーン	H23年度調査対象	
ヒスタミン	H23年度調査対象	
ジビエ食材を介したヒトと動物の共通感染症	H23年度調査対象	
ダイオキシン類	自主調査	H22年度調査事業の成果を活用
カルバミン酸エチル	自主調査	
貝毒	自主調査	
フグ毒	自主調査	
キノコ毒	自主調査	

注) 平成23年2月17日、第367回食品安全委員会資料：ハザードの分類の考え方

A…「自ら評価」の対象とすることのフィージビリティ（科学的知見・データの有無など）をさらに詳細に検討して整理するべきもの

イ：引き続き自ら評価案件候補にするか否かを検討（平成23年2月の最終候補に残るもの）

口：情報収集（平成23年2月の最終候補に残らないもの）→参考参照

ハ：情報提供 1 (")

二：情報提供 2 (")

(参考)

Aーロ：情報収集とされたもの（平成22年12月16日、第36回企画専門調査会）

ハザード名等
イソチオシアネート
アカネ色素に含まれる成分
臭素系難燃剤
シガテラ毒
ピロリジジナルカロイド
ミクロシスチン
アラキドン酸

注）情報収集とされたものについては、引き続き自主的に情報収集を行うこととする。